

「食をかこむ和 ~つながるまち・ささえあう暮らし~」 生活クラブ50周年記念フェスタを開催しました！



開場をたのしみに待つ人の列

1968年の生協創立から昨年で50周年を迎えたことを記念し、5月25日(土)大田区平和島のTRC東京流通センター第1展示場で、「生活クラブ50周年記念フェスタ」が盛大に開催されました。テニスコート約17面も入る広大な展示場には、生産者・運動グループのブースが100以上も出展し、5月としては記録的な暑さの中、2,000人以上の参加者がありました。久しぶりの再会に話はずむ組合員や生産者、まわりきれないほどのブースの試食を堪能する来場者など、和やかな熱気のなかで、50年の歴史とつながりを実感できたひと時となりました。



生活クラブ史に残るこのフェスタに、参加できることを誇らしく思います。試食をたくさん食べた、生産者と直接話して、消費材を体感していただき！

和高スパイス 山田親生会副会長



高田第二小学堂クラブによる和太鼓と獅子舞



対談「これからの50年に向けて」

河野：生活クラブでは当たり前だけれど探御日がわかる御って他にはあまりないんだよね。「情報を公開する」が大事なことなんだ
土谷：わかって安心できることが安心につながったんですね。

河野：50年前、最初の配達するとき、自転車倒して牛乳を割っちゃってねえ
土谷：牛乳山積みで、とても重うですものね



土谷：「カンプリア宮殿」の収録のとき台本があったんですか？
河野：それが僕にだけないんだよ、でも、あわずかな収録時間の中で、「生活クラブの鍵は女性の自立だ」と言った村上龍さんには驚いたね



土谷雅美さん 生活クラブ東京理事長



河野栄次さん 生活クラブ東京顧問



料理研究家 枝元なほみさんのトークライブ



大泉センターの組合員を中心に結成されたチルコロコーラス



組合員&職員の生活クラブバンド



50周年記念フェスタ実行委員の組合員・生産者、常任・常勤理事、50周年記念事業実行委員、ステージ出演者

フェスタのテーマは「食をかこむ和~つながるまち・ささえあう暮らし~」と実行委員で決めました。このテーマの通り、おせいの組合員が生産者とのつながりができました。私たちの「消費材」を知り、その価値を理解する場になったと思います。開催に向け、実行委員会では長い時間をかけてさまざまな討議を重ねてきました。大きな成果に結びついたことをうれしく思います。生産者をはじめ、運動グループや団体のみならず、組合員サポーター、職員の協力を得て、フェスタを開催することができました。本当にありがとうございました。

生活クラブ・東京副理事長 生活クラブ50周年記念フェスタ実行委員長 増田和美

